

「すばらしい Holy Night」

1. 夜空にかがやく 天のつかいたちが
羊飼いたちに 知らせたよろこび
待ちのぞんでいた 祈りつづけてきた
救い主が 今日 お生まれになった

* 羊飼いたちの喜びは 歌とかわって
星空の下にひびくよ すばらしい Holy Night

2. 小さな馬小屋 飼い葉おけの中で
静かにねむっている 救い主イエスさま
天の神様が 愛するひとりごを
ひとの罪のために この世におくられた

(*くり返し)

【次】

「すばらしい Holy Night」

3. ありがとう神様 心からありがとう
わたしたちのために イエス様をありがとう
わたしたちの喜びは 歌とかわって
星空の下にひびくよ すばらしい Holy Night
- ラララララララ……………
ラララララララ……………
すばらしい Holy Night

新聖歌75番 「神の御子(みこ)は」

- 1 神の御子は 今宵(こよい)しも ベツレヘムに
生まれたもう いざや友よ もろともに
急ぎゆきて 拝(おが)まずや ×2
- 2 おとめマリア 母として 生まれましし みどりごは
まことの神 君(きみ)の君 急ぎゆきて 拝まずや ×2
- 3 「神に栄えあれかし」と み使いらの声すなり
地なる人も たたえつつ 急ぎゆきて 拝まずや ×2
- 4 とこしなえの み言葉は 今ぞ人となりたもう
待ち望みし 主の民(たみ)よ
おのが幸(さち)を 祝わずや ×2

アーメン

新聖歌79番 「天(あめ)には栄え」

- 1 「天(あめ)には栄え み神にあれや つちには安き
人にあれやと」と み使いたちの たたうる歌を
聞きてもろびと 共に喜び 今ぞ生まれし 君をたたえよ
- 2 さだめたまいし 救いの時に 神の御座(みくら)を
離れてくだり 御霊(みたま)によりて おとめにやどり
よびとの中に 住むべきために
今ぞ生まれし 君をたたえよ
- 3 朝日のごとく 輝きのぼり み光をもて 暗きをてらし
土よりいでし 人をいかしめ 尽きぬいのちを
与うるために 今ぞ生まれし 君をたたえよ アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌76番 「諸人(もろびと)こぞりて」

- 1 諸人こぞりて 迎えまつれ 久しく待ちにし
主は来ませり 主は来ませり 主は 主は来ませり
- 2 悪魔のひとやを 打ちくだきて とりこをはなつと
主は来ませり 主は来ませり 主は 主は来ませり
- 3 この世のやみじを 照らしたもう たえなる光の
主は来ませり 主は来ませり 主は 主は来ませり
- 4 しぼめる心の 花を咲かせ 恵みのつゆ置く
主は来ませり 主は来ませり 主は 主は来ませり
- 5 平和のきみなる み子をむかえ 救いの主(ぬし)とぞ
ほめたたえよ ほめたたえよ ほめ ほめたたえよ

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン